

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ロイヤルスクエア枚方公園（児童発達支援）		令和 7 年 5 月 6 日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		活動内容によっては家具の移動を行ってスペースの確保をしています。	子どもたちの成長に伴い、身体の成長が著しいので手狭に感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	出入り口や子どもたちのお知らせなどをドアや壁に掲示しています。 トイレの手すりの設置を行いました。	玄関に段差があり、すのこをひいていますがサイズが合っていない。只今、探しています。（賃貸なので工事ができません。）
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	ブログレンスウオーターの噴霧やおもちゃの消毒をして感染予防対策をしています。	相談室や事務所を使いながら個室の確保していますが手狭に感じることば否めません。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	法人内での意見交換や会議などを行い業務改善反映させています。	第三者機関をして頂ける方を探しています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		月一回の社内研修や外部研修、理学療法士の身体についての研修を行っています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		支援会議を持っています。会議を行った上で今後の指針の決定をしています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		いつでも職員が確認出来るように個々のファイルに収められています。支援計画に沿って支援を行っています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7		毎月の予定表、イベント等担当者が会議を持ち職員全員の意見を反映させています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		毎月の予定表、イベント等担当者が会議を持ち職員全員の意見を反映させています。	イベント等などはお出かけに限界があり、いつも子どもたちにとって良い場所がないか悩むことがあります。

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7			
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	7		センターからの支援計画見直し時期の連絡などをいただいています。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	7		法人内保育園と交流をしています。 事業所には午前中の訪問が多いです。 保育園にもお友だち（小学6年生）がお手伝い行きました。	保育園の活動が午前中なので平日に交流を持つことは難しいです。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7		理学療法士、就労支援事業所の協力をお願いして研修の機会を作っている。	講師、保護者の方々の日程調整が難しいことや体操療育などは療育室が狭いため人数制限がある。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7			

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		父母会はありませんが保護者参加の研修会の機会に交流をしてもらっています。	開業当時、父母会は要りませんとのご意見をいただきました。開業から7年たち父母会についてのご質問もありますので、父母会を今後どうしていくのか？アンケートを実施したいと思っています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		SNS、HP、子どもさんの写真送付、手紙を配布しています。	それぞれのご事情により、個人情報（写真等）の取り扱いが違うので管理を厳重にしなければならない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	7		個別に個人情報の保固有るため、地域開放は行っていません。法人内の保育園に開放しています。	個別に事情があるご利用者もいらっしゃるのので地域開放は難しいと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		療育室玄関カウンターにマニュアル書を設置しています。マニュアルに沿って研修や訓練を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		療育室玄関カウンターにマニュアル書を設置しています。マニュアルに沿って研修や訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		服薬等は看護師がいらないため基本は行っていませんが命にかかわるものやその時々に応じて相談いただいています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		保護者の方々に食品の原材料の写真送付を行い確認をお願いしています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		ヒヤリハット報告書、事故報告書の共有、防止対策の会議を行っています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		月一回の社内研修や外部研修を行っています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7		その様な場面があった時には保護者に連絡を取らせていただき、来所していただいています。	本人が一番辛いと思うので落ち着ける環境を提供しようと思っていますが騒がしい時もあり課題を感じています。